

令和5年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号
代表者 : 理事長 武内慎吾

法人概要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のぼたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のぼたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のぼたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のぼたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月	「のぼたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香
所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号
連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088
E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦
所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号
連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426
E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子
所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号
連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455
E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法 人 報 告

まず、これまで数年間かけて豊中市と協議してきた事業譲渡の件については断念するという結論が出た令和5年度であった。今後の法人運営に関しては令和6年度中に決定していく予定である。

各施設ともに特に大きな問題もなく運営することができた。「のばたけマミー保育園」の人員配置について少しゆとりを持ちすぎた人員配置になっていたが、令和6年度からは解消される。

経営面としては法人全体として、経常増減差額率 4.6% (5.9%), 流動比率 315.3% (185.6%), 純資産比率 77.2% (70.5%), 固定長期適合率 98.4% (94.3%), 人件費比率 73.0% (72.2%) であり、良好な経営状態であったといえる。

※ () 内は令和3年度豊中市保育事業提供法人平均値

※ 社会福祉法人の経営指標は別紙参照

地域貢献に関しては、園庭開放・一時保育事業・各サークル等の園内活動や自治会等の活動についてもコロナ禍前の状態に近い活動を行うことができた。

1. 理事会・評議員会等開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和5年6月6日	第1回 理事会	令和4年度事業報告・決算、令和5年度補正予算、就業規則の改定、契約関係
令和5年6月23日	第1回 定時評議員会	令和4年度決算、令和5年度補正予算、役員の選任
	第2回 理事会	理事長および業務執行理事の選定
令和6年3月4日	第3回 理事会	令和5年度補正予算、令和6年度事業計画・予算、就業規則の改定、運営規程の改定
令和6年3月28日	第2回 評議員会	令和5年度補正予算、令和6年度事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	主な内容
令和5年5月30日	第1回 運営会議	理事会前打合せ
令和5年10月30日		のばたけ保育園にて 安家業務執行理事より、さくらづか保育園にかかる事業譲渡についての現状報告
令和5年11月10日		豊中市役所にて 豊中市より、さくらづか保育園にかかる事業譲渡についての結論報告
令和6年1月12日	第1回 施設長会議	令和6年度給与体系について、育児看護休暇・介護休暇の有給化、就業規則について
令和6年1月18日		豊中市役所にて さくらづか保育園の事業用借地権設定契約の打合せ
令和6年2月21日	第2回 運営会議	理事会前打合せ

各施設報告

【認定こども園 さくらづか保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月					
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		14		15					
	1歳児	24		24		24		24		24		24					
	2歳児	24		24		24		24		24		24					
小計(0～2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	62	0	63	0				
2号	3歳児	26		26		26		26		26		26					
	4歳児	25		26		25		26		26		26					
	5歳児	27		26		27		27		27		27					
小計(3～5歳児)		81	0	81	0	81	0	82	0	82	0	82	0				
合計		144	0	144	0	144	0	145	0	144	0	145	0				
年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15		179	0	179	
	1歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
	2歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
小計(0～2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	755	0	755	
2号	3歳児	26		26		26		26		26		26		312	0	312	
	4歳児	26		26		26		26		26		26		310	0	310	
	5歳児	27		27		27		27		27		27		323	0	323	
小計(3～5歳児)		82	0	82	0	82	0	82	0	82	0	82	0	981	0	981	
合計		145	0	145	0	145	0	145	0	145	0	145	0	1,736	0	1,736	
															2・3号合計		
															1号合計		
															全児月平均 (市内)		
															3歳児以上 の月平均 (市内)		

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ144名(8.3%)

職員数：

種別	園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	助保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	1名	23名	—	1名	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	—	12名	3名	1名	—	3名	1名	1名
合計	1名	2名	1名	35名	3名	2名	1名	5名	1名	1名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	2名	3名	令和6年度 補充1名
非常勤職員 (派遣職員除く)	2名	4名	令和6年度 補充4名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの人権について園内研修を行い、一人ひとりを大切にする保育に努めた。
- 各クラスで子どもの休息できるコーナーや障害を持っているお子さんのクールダウンできるコーナーを設置することにより、心と体を休める環境を整えた。
- 菜園で子どもと一緒にいろいろな野菜を育て、収穫、調理、食することで、食べ物への興味や関心が高まった。
- キャリアアップ研修を多く受講し、園内研修で共有することで多くの学びがあった。
- 安全指導は毎月行い、子ども・保育教諭・保護者の安全に関する意識が向上した。
- 園長・主幹・副主幹の業務内容を明確にし、園の運営や職員への指導等、前年度よりも円滑に行えた。
- 計画的有給を取り入れたことにより、職員のリフレッシュ休暇が充実できた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの人権や不適切保育についての研修やグループワークで意見を出し合い、職員同士で自身の保育について見直し学び合えた。また、職員の意見から不適切保育についてのチェックシートを作成し、今後は定期的にチェックしながら子どもの人権を大切にする保育を心掛けていく。 ● 休息コーナーでは、クッションやマットを敷き、自由に寝転んだり静かに落ち着けるコーナーを設置し、障害を持っている子には、好きな遊びや落ち着く物を置くことで、部屋で過ごすことが多くなり、精神的に落ち着いて過ごせることが増えた。 ● 子どもと保育教諭で育てたい野菜を育て収穫し調理をした。また、ジュース屋さんごっこやピザ屋さんごっこに繋げ、他クラスの子どもや職員の交流にもなった。食への意識向上となった。 ● 毎月、安全指導についての動画をスクリーンで視覚的に伝えた。楽し

	<p>みながら理解している姿があり、安全での意識が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 能登半島地震に被災されたお子さんや保護者の方のメンタルケアをしながら災害訓練を行った。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 園長・主幹・副主幹の役割を細かく決めることで、職員の指導や伝達等スムーズにおこなえるようになった。 ● キャリアアップ研修を多くの職員が受講し、園内研修で共有を行った。学ぶだけではなく、報告や伝達することで個々の研修の内容を深め理解に繋がった。 ● 今年度の職員の有給休暇取得率は 108.4%であった。また、計画的有休を取り入れることで、職員のリフレッシュ休暇の充実を図ることができた。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● スマイルサポーターが常駐しているので、地域の方の相談窓口として努めた。 ● 子育てサークルの内容を充実させ、保護者の方に丁寧に声掛けをすることで、リピートで参加される方が多く入所にも繋がった。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● AED の貸し出し掲示

その他特記事項（主な施設整備関係）

- 電気空調全体更新工事（経年更新）
- 園庭遮光ネット工事（夏季温度対策）
- 生ごみ処理機設置工事（環境対策）※豊中市補助金事業

【のぼたけ保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市
3号	0歳児	13	0	14	0	15	0	15	0	15	0	15	0
	1歳児	25	0	25	0	24	0	25	0	25	0	25	0
	2歳児	29	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
小計(0～2歳児)		67	0	69	0	69	0	70	0	70	0	70	0
2号	3歳児	47	0	47	0	47	0	48	0	48	0	48	0
	4歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
	5歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3歳児	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
	4歳児	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
	5歳児	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	1	1
小計(3～5歳児)		118	0	118	0	118	0	119	0	119	0	117	1
合計		185	0	187	0	187	0	189	0	189	0	187	1

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市			
3号	0歳児	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0	177	0	177
	1歳児	25	0	25	0	25	0	25	0	23	0	23	0	295	0	295
	2歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	359	0	359
小計(0～2歳児)		70	0	70	0	70	0	70	0	68	0	68	0	831	0	831
2号	3歳児	48	0	48	0	48	0	48	0	47	0	47	0	571	0	571
	4歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	360	0	360
	5歳児	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	360	0	360
小計(3～5歳児)		117	1	117	1	117	1	117	1	116	1	116	1	1,409	7	1,416
合計		187	1	187	1	187	1	187	1	184	1	184	1	2,240	7	2,247

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ216名(9.6%)

職員数：

種別	園長	副園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	1名	2名	1名	34名	1名	1名	3名	—	1名
非常勤	—	—	—	—	7名	—	—	1名	2名	1名
合計	1名	1名	2名	1名	41名	1名	1名	4名	2名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	5名	1名	令和6年度 補充4名
非常勤職員 (派遣職員除く)	—	2名	令和6年度 補充2名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの人権を尊重する保育を展開するために、インクルーシブ保育を実践したり、手話などを取り入れたりしながら、多様性を自然と受け入れられるようにした。
- 子どもたちが意欲的に遊べるように、学期ごとに玩具や棚の配置など環境構成をクラスミーティング・乳幼児会で話し合い、発達に応じた保育環境を整えるよう努めた。
- 一人一回は研修を受けられるようにし、研修後は職員会議や乳幼児会など園内でアウトプットできる環境を作るように努めた。共有フォルダを活用し、どのパソコンでも研修内容や資料・ZOOM研修などをいつでも閲覧できるようにし、職員全体の保育の質の向上に努めた。
- 積極的にホームページなどで園の行事や利用情報を掲載したり、出前保育や地域交流の場としてこっこびよびよサークルにも力を入れることで、たくさんの地域の子育て家庭の方に園を利用したり知ってもらうことができた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 外で子どもたちが自由に遊べる時間を大切にし、子どもの年齢や発達に応じた遊びを取り入れ、年齢や発達に応じた行事ができるよう見直しをはかった。 ● 乳児クラスから体幹を鍛えられるような運動遊びを取り入れたり、リトミックや基礎体力をつけられるよう幼児クラスでも朝の遊びの中にリレーや縄跳びなどを取り入れた。 ● 菜園係など職員の中で担当を決め、各クラスの担任と相談しながらプランターや畑で野菜を栽培し、水やりやクッキングなど一年を通して子どもと一緒に食育活動ができるように努めた。 ● 朝の人数確認での、連絡がなく登園していない園児への確認連絡について、職員だけでなく保護者へその必要性を理解していただき、確認連絡を徹底した。 ● コロナ前の行事に戻していく中で、子どもたち自身が以前より行事に参

	<p>加できている実感を持てるように行事内容を変えたり、行事を楽しめるような進め方へと見直しを図った。</p>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 役職に応じた役割や与えられた仕事や役目を最後まで責任を持ってやり遂げられるよう、進捗状況の把握や職員に対しての声掛けを年間通して行った。園内研修の機会を増やしていく予定だったが、職員会議の後では時間が足りず達成できないことが多かったため、次年度は乳幼児会議の後の15分に組み込んだり、月に1回は必ず研修の時間を設けて実行できるように進めていきたい。 ● 全職員の有休休暇の取得がほぼ80%を超えているが100%には届いていない状況。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回、0・1歳向けのサークルを開き地域の親子に来てもらい、話しやすい環境を作りながら子育て相談の場や保護者同士の交流の場を設けた。 ● 一時保育は出来る限りたくさんの方に利用してもらえるよう登録を受け付けた。また、緊急一時保育の相談もあり保護者の思いに寄り添いながら受け入れるようにした。 ● 園の門にAEDの看板を設置した。

特記事項（施設整備関係）

- 園舎屋上防水工事
- 外壁塗装修繕工事
- プールサイドの改修工事
- 園庭鉄棒下の安全マット改修

【のぼたけマミー保育園】

月別利用児童数

■年齢別・月別初日在籍児童数													
年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市
3号	0歳児	5	0	5	0	6	0	6	0	6	0	6	0
	1歳児	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0
	2歳児	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0
小計(0～2歳児)		21	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0
2号	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		21	0	21	0	22	0	22	0	22	0	22	0

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・ 他市 合計
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市			
3号	0歳児	6	0	6	0	6	0	6	0	6	0	6	0	70	0	70
	1歳児	7	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	95	0	95
	2歳児	7	0	8	0	8	0	8	0	8	0	8	0	95	0	95
小計(0～2歳児)		20	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260
2号	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2・3号合計
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260
1号	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1号合計
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(3～5歳児)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		20	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	260	0	260

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ18名(6.9%)

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	用務員
常勤	1名	1名	9名	1名	2名	—
非常勤	—	—	2名	—	—	1名
合計	1名	1名	11名	1名	2名	1名

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	2名	5名	令和6年度 補充 2名
非常勤職員 (派遣職員除く)	1名	1名	令和6年度 補充 0名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもの人権の尊重をあらためて職員全員で学びなおす機会を持ち、一人ひとりの子どもに愛着を持って丁寧な保育をすることを、職員一人一人が日々心がけた。
- 興味や意欲をもって行動できる子どもを育てるために、保育環境の充実を図った。
- 心身共に健康な日常を過ごせるよう、衛生的な環境づくりに努めた。
- 乳幼児期の体作りに大切な体幹を鍛える運動あそびを、意識的に保育に多く取り入れるようにした。
- 園全体で危機管理能力を高められるように、見直しや勉強会をもつようにした。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々が遊びに集中できる空間が保障される環境づくりを定期的に見直し、安心安全に過ごせる環境づくりに取り組んだ。 ● 天気の良い日には積極的に屋外に出かけるようにして、四季折々の自然に触れる機会を多くもつようにした。公園で見つけた様々な生き物を育てることで、命の大切さを学ぶ機会が持っていた。 ● 子どもへかかわりで不適切な保育がないようにあらためて子どもの人権について学ぶ機会を定期的持つようにして、職員一人一人の意識がより高まるように努めた。 ● 野菜を育てたり、給食調理前の食材に触れたり皮むきなどのお手伝いをする事で、食への興味を深め、食べる楽しみにつなげることができた。 ● リトミックの外部講師に定期的に来てもらうことで、表現あそびがより楽しく保育に取り入れられるようになり、職員のスキルアップにもつながっている。 ● あらゆる安全面において見直しを図り、職員間の意識の共有化を高めた。子どもたちにも年齢にあった防災意識が根付くように保育の中で話したり、防災食を食べてみる等の実践をおこなった。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の学びたい気持ちを大切に、行きたい研修に積極的に出られるようにした。 ● 休憩室と保育室の間にカーテンを取り付けることで、リフレッシュできる環境に改善を図るようにした。 ● 勤務時間内で事務仕事や保育準備ができるようにしたり、定時になったら勤務を終えて帰る等意識的に声をかけあって、ワークライフバランスが図れるように取り組んだ。 ● 今年度の職員の有給休暇の全体取得率は 100%であった。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 「夏祭り」や「みんなであそぼ」を開催し、地域の方が参加できるようにした。夏祭りには、約 100 名の方が遊びに来てくれた。みんなであそぼには、年間で約 40 名の参加があった。 ● 地域の方の絵本の貸出率が高かった。 ● 異世代交流として、地域の高齢者施設（アクティブライフ豊中）訪問を行い、交流をもつことができた。

特記事項（施設整備関係）

- 軽自動車（車両）の購入